

たましま協同病院だより

玉島協同病院

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

http://www.tamakyo.com/

発行責任者 青木弘人

[病院理念] 玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います

リウマチ外来

2024年11月より診療日が増えます!

【診察時間】 毎週 **水** 曜
9:00～11:30

【担当】 **永村 徳浩** 医師

予約をしていただくと診療がスムーズですので、事前の予約・電話相談をお願いします。

2024年7月から開設したリウマチ外来ですが、この度、月1回だった外来を週1回に拡大する運びとなりました。引き続き、玉島地域周辺にお住まいの患者さんで、リウマチ外来を希望される方がおられましたら、お気軽にご相談ください。



組合員さんと班会に参加

6週間に渡る地域医療研修では、今までと違い疾病そのものの学習とは少し離れた医療の学びがたくさんありました。主に病院外の施設・住宅への訪問診療、訪問看護、班会参加を行うことで、健康な方々から重症患者

さんの環境の把握、サポートを俯瞰的に把握するための研修だったように思います。印象に残ったことといえば、担当患者さんのフォローです。エンドステージと診断され、ターミナルケアの方針となった患者さんとそのご家族が何を望んでおられるか、いかに身体的・精神的な苦痛を取り除いて支えていくことができるかを考えさせられました。除痛や排便コントロールといった、症状を緩和するための立ち回りはもちろんですが、その患者さんの家の様子、家族構成、嗜好品や趣味



訪問診療の様子

今後様々な科の研修が続きますが、どの科においても中心にいる患者さんにはその病気を超えた家族、生活環境などの問題が存在しうることを意識していこうと感じた研修でした。ありがとうございました。

- ※1 担当...癌を患っている状態のこと
 - ※2 エンドステージ...臨終間近を意味する
 - ※3 ターミナルケア...残された余命を平穏に過ごせることを目的とした終末期医療
- (研修医 吉浦 雄飛)

8月26日～10月3日の期間、当院にて吉浦研修医に地域医療研修を行っていただきました。研修を通しての感想をご紹介します。

地域医療研修 地域の特性に即した医療の理解と実践

を把握し、雑談なども交えながら関わっていくことは地域医療に携わる医療従事者ならではの思いです。

玉島協同病院は今後も部屋代はいただきません

シリーズ透析室④

通院手段の現状と課題



透析を導入すると、基本的に週3回病院へ通うようになります。透析は生命維持に欠かせないため休むことが出来ません。お盆やお正月も関係なく来ていただくこととなります。そのため、「自宅から無理なく日常的に通うことが出来る」ことは非常に重要だと言えます。

当院の外来透析に通われている患者さんは、様々な方法で週3回来院されています。患者さん自身で自家用車を運転して来られる方や、家族に送迎をしてもらう方、それらが難しい方の中には介護保険を使って介護タクシーで来られる方もおられ、透析の帰りにそのままスーパーへ買い物に寄られたりするなど、うまく利用されている方もいらっしゃいます。

また、本数は少ないですが、当院の正面玄関前に井笠バスの停留所があるので、バスで通院していただくことも可能です。

透析に通われる患者さんの通院手段の確保は病院としても課題であると考えています。患者さんが安心して通院できるよう、今後も検討していきます。

(透析室看護師 丸野 由紀)

第3回 看護・介護連携の会を開催

9月27日に3回目となる看護・介護連携の会を開催しました。今回は意見交換をメインに行ったので、今回は「施設で出来るリハビリメニュー」「腰痛予防/腰痛体操」をテーマに、実践を交えながらの学習会方式で行いました。前回は上回る33名の玉島・船穂地域の在宅関係者の方々が参加してくださり、当院からは連携室、相談室、入退院支援室から4名の職員が参加しました。



開会のあいさつをする道端医師

道端医師による開会のあいさつから始まり、作業療法士の安田さんを講師に、座った状態で出来るストレッチや筋トレを中心に実践し、その動きがどの筋肉に効いているのか図で解説してもらいながら学びを深めました。参加者からは「施設でも取り入れてみたいと思った」「物を使わず座ってできるのがよかった」「ただ体操



体操を実践する参加者のみなさん

するのではなくしっかりと目的や目標をもって動かすことが必要と感じた」などの感想が寄せられました。今回の学習が、玉島地域で施設やサービスを利用して暮らされている方々の生活の質の向上に繋がってくればうれしく思います。

(地域連携室 柳瀬 佳奈)

たくさんのご参加、ありがとうございました!!

加集万里子の お料理教室

シリーズ
191



ごぼう天うどん



福岡に本店がある資さん(すけさん)うどんの名物のごぼう天うどんをマネして作ってみました。ごぼうは下ゆでしているので食べやすく、おかずやおつまみとしても美味しいです。

材料 (ごぼう1本を使って)

- ♥ごぼう……………1本
- ♥天ぷら粉か小麦粉……………2分の1カップ
- ♥水……………とろとろになるくらい
- ♥揚げ油… フライパン1cmくらい
- ♥かけうどんの材料 … 2人前

作り方

- ①ごぼうの土をよく洗い、15cmの長さで縦に4つに割る。切ったごぼうに塩をひとつまみ加えて、8分くらい柔らかくなるまでゆでる。
- ②ざるにあげ、冷ましておく。その間にかけうどんのだしを作り、準備しておく。
- ③フライパンに油1cmくらい入れて熱し、天ぷら粉をとろとろに溶いておく。ごぼうに小麦粉を薄く振り、溶いた天ぷら粉にくぐらせ揚げていく。
- ④熱々のかけうどんを器についたら、ごぼう天を斜めにさして盛り付ける。

ごぼうが太いかな?と思っても、下ゆでするのでサクッと食べられます。溶いた天ぷら粉をつける前に打ち粉(小麦粉)を振ると天ぷら粉がよくつきます。



民医連職員総勢1700名の迫力

第16回 全日本民医連 共同組織活動交流集会に参加して

9月29日〜30日に岡山シンフォニーホールをメイン会場に全日本民医連共同組織活動交流集会が開催されました。これは、全国各地の民医連に属する共同組織や職員が交流する場で、全国より1700名の参加がありました。玉協だよりの読者であるみなさまの中にも、参加された方がいらつしやると思います。

私は、「ハンセン病療養所長 島愛生園歴史館」を巡る2日目の動く分科会でバスガイドの役割を担いました。魅力的な動く分科会には多くの参加申込みがあり抽選となったくらい盛況でした。参加者の多くはハンセン病の歴史について詳しく知ら

ず、勉強をしたい思いでした。私は、ハンセン病患者さんに20年程前から関わらせていただいている経験から、愛生園までの道中、ハンセン病の歴史や病気についての基礎知識、関らせていただいたハンセン病患者さんたちのことをレクチャーさせていただきました。そして、愛生園到着後は学芸員の詳しい話とワールドワークで詳しくハンセン病にまつわる人権侵害の歴史に触れていただきました。

参加者からは、「本当につらい歴史がここにあることが現地にきて肌で感じる事ができました。」「人権侵害が繰り返されないよう意識を新たにしました。」との言葉が聞かれました。

(地域連携室室長

八谷 直博)

マイナ保険証が無くても 受診できます

令和6年12月2日から現行の保険証の新規発行は停止されます。それに伴い、窓口ではよく「12月2日以降今の健康保険証が使えなくなるの?」「マイナ保険証が無いと受診できないの?」という不安や疑問の声をいただくことがあります。実際は経過措置として、12月2日以降も現在発行済みの保険証については記載の有効期限までは使用していただけます。例えば、後期高齢者医療制度や国民健康保険に加入している方の多くは、最長で令和7年7月31日まで現在の保険証で受診ができます。また、勤めている人が持つ会社の健康保険組合や協会けんぽ等の保険証の多くは有効期限がありませんが、退職などで資格喪失にならない限りは、令和7年12月1日までは使用が可能です。マイナ保険証を保有していない方については、申請しなくても資格確認書が保険者から交付される予定です。マイナ保険証が無くても、安心して受診していただけます。お困りの時はご相談ください。



(相談室 西村 みゆき)

玉島協同病院はカルテを開示しています

通所リハビリテーション 敬老会を開きました!



9月16日〜17日の2日間、通所リハビリテーションで敬老会を開催しました。会場を風船でデコレーションし、壁には利用者さんが作成した立派な作品を掲示しました。

出し物の手品では、コップに入ったトウモロコシの粒があつという間にポップコーンに早変わりし、利用者さんから「おお! ポップコーンになつとる!」と歓声が起こりました。

また、ピアノが得意な職員が演奏し、全員で懐かしの名曲を合唱しました。メロディーが流れると「懐かしいわあ…!」と声が上がリ、みなさん自然と歌う声も大きくなっていました。ささやかですが、利用者さんと共に楽しいひと時を過ごしました。



玉島協同病院は無低診事業を行っています。お気軽にご相談下さい。